



野比だより

横須賀市立野比中学校

平成31年(2019年)3月8日(金) NO. 65

3年生…最終号

保護者の方と一緒に読みましょう

3年生のみなさん、昨年度まで事務職員さんとして、またバスケットボール部のコーチとして君たちと一緒に活動してきた「石川 里砂さん(現：北下浦中、事務主事)」から手作りのメッセージカードが届きました。

卒業式当日だけではもったいないので、学校だよりで一足先に紹介します。

— 卒業生のみなさんへ — ご卒業おめでとうございます —

今年の3年生は、あまり関わりのない事務職の私にも笑顔で話しかけてくれた優しく、素直な印象の学年です。

今日という日を一緒に迎えられないのは少し残念ですが、きっと1年間で見違えるような素敵な3年生になっているのだろうと思います。

瞳を閉じれば、仲間との思い出たちが浮かぶでしょう。かけがえのない仲間たち。

この場所で過ごした日々、学んだことはとても大きな力になります。ここで出逢った仲間は一生の宝です。

いつまでも仲間との絆があること。ここまであなたを支えてくれた人に感謝し続けることを忘れずに、新たな世界へ踏み出して行って下さい。

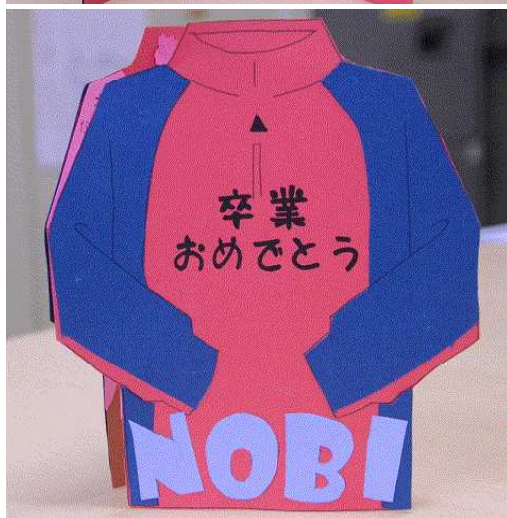
そして最後に、「**野比の絆…永遠に**」と書かれています。でも、先日の大大…大先輩の織田さん(第6期卒業生)の講演会を覚えていますか。

君たちの後ろに座っていたのは、多くの同級生たちです。講演会前から集まり初め、そしてあの日は、きっと遅くまで仲間たちと語り合っていたのではないのでしょうか。

素敵だと思いませんか。

1, 2年生も含めて、隣に座っている仲間の30年後を想像できますか？
部活の仲間は、30年後には…どうなっているのでしょうか？

もしかしたら、誰かがずーと下の後輩(その時の13歳~15歳)に講演しているかもしれませんよ。そう考えると、野比の絆は永遠に続くのです。最初に再会するのは「成人式」かもしれませんね。



最高の笑顔 を届けるのが先生の最後の役目だ！！

さてさて昨日の卒業証書授与式の予行練習はどうでしたか？
3年生は、意外に緊張するものです。呼名の返事…「ハイッ！」の本当に短い返事。でも、その一言にある意味、すべてを込めてほしいと願っている。

中学校時代の自分に誇りを持ち、これから進むべき道への決意だろう。

家族への感謝と、「私は、ここまで成長しました。これからも応援よろしく願います」のお願いだろう。

後輩達へ、これからの野比中を頼む！
さらに素敵な野比中を創って行ってくれ！！と託す言葉だろう。

そして最も重要なのが、君の笑顔だよ。それが、家族にとって最高の贈り物のはずだ。笑顔を見せてくれるまでは、証書を離さないからね…(笑) その笑顔、仲間も忘れちゃいけない。

2年生は、1年後の自分が見えたか？！だよ。

1年生は、あの場で成長した自分を見せるために、「今」…何を精一杯取り組むかだ。中学校時代は本当に短い。もしかしたら、短く・心が揺れ動き、悩み・葛藤する中で大きく成長するからこそ、中学校の卒業式は、小学校とは違うのかもしれない。

先生に残されたのは、卒業式での**10分間**。この2年間の全校講話や学校だよりで、君たちは何を受け止めてくれただろう。

そんなことを考えているときに、ある曲と出逢ったんだ。著作権の問題もあるので、一部分しか載せられないが、NEWSという4人グループの歌なんだ。

君たちの方がよく知っているかもしれませんね。サビの部分だけど、まさに「生きろ！」って題名です。どんなに苦しくたって、どんなに辛くたって、どんなに格好悪くたって、一生懸命取り組んでいる君たちは美しい。

**生きろ！
何万回言ったって何万回聞いたって
負けそうにまたなるけど
いいさ懸命に誓った 仲間の絆を
道しるべに**

**生きろ！
敗北を知ったって
0(どん底)にいたって
またやり直せるだろ？
そう授かった命のすべてかけて
燃え尽きるまで
生きていく**

体育祭や部活動の様々な場面で、カメラのレンズを通して君たちの多くの表情を切り取ってき懸命に取り組んできたからこそ、出せる表情なんだ。そしてもう一曲。

「UR not alone(ユー・アー・ノット・アローン)という曲だ。意味は、「君はひとりじゃないさ」です。

**あの頃の僕は負けそうに
なると誰かのせいにして逃げて
諦めた言い訳はそりゃ楽で
そうして僕はまた自分に負ける**

**それでも(Hey)戦っている
そんな他人(ひと)はきっと他所(ほか)にいる
それでもいいの？(Hey)目指す場所へ
行くと決めたんだらう？**

織田さんの講演会で話されていた内容と同じだと思いませんか。

諦める方が簡単。やめてしまう方が楽。
諦めたって生きていける。やめるより続けることの方がエネルギーがいる。
それでも先生は言う。生きろ！前を向け！君は一人じゃないから…大丈夫！！